

聖書コース

○新約聖書コース「使徒パウロのコリントの教会への手紙二」を読む

『わたしがあなた方のために思って抱いている希望は、決して揺るぎません』（ニコリント 1・7）

澤田 豊成（聖パウロ修道会司祭） 水曜日 13:30-15:00

開講日： 4/22、 5/13、 5/27、 6/3、 6/10、 7/8 （全6回）

コリントの教会は、使徒パウロが福音宣教の実りとして設立した教会です。しかし、この教会とパウロの関係は順風満帆ではありませんでした。コリントの教会への手紙二を読むと、コリントの教会への手紙一が記された時期よりも、両者の関係が非常に難しくなっていることが分かります。パウロは、「心で大いに苦しみ悩んだすえ、涙ながらに手紙を差し上げました」（2・4）と記さないではいられませんでした。それでも、パウロはあきらめることなくコリントの教会に働きかけ続けます。「わたしがあなた方のために思って抱いている希望は、決して揺るぎません」と確信しているからです。パウロをここまで駆り立てる揺るぎない「希望」とはどのようなものなのか、手紙をとおして読み深めていくことにしましょう。

○聖書入門コース「マタイによる福音書」を読む

山内 堅治（聖パウロ修道会司祭） 木曜日 13:00-14:30

開講日： 4/30、 5/7、 5/21、 6/4、 6/25、 7/9 （全6回）

二〇二六年の福音朗読はA年。つまり、毎週日曜日の福音では「マタイによる福音書」がメインに朗読されていきます。この福音書に初めにイエス・キリストの系図が出てきます。この系図を見ただけで、新約聖書を閉じてしまう方もいらっしゃるかもしれません。しかし、この系図には旧約聖書との深いつながり、すべての人を救いへと招くメッセージが込められています。弟子の派遣に際しては「代の終わりまで、いつもあなた方とともにいる」（マタイ 28・20）と結ばれていくように、「ともに」の精神、「シノダリティ（ともに歩む）」の精神が息づいています。同時に勇気が与えられるみことばです。現代社会の中で希望を失くした方々も、聖書を読みながら神の愛を感じ、明るい光が射し込んでくることを願いながら「マタイによる福音書」を一緒に読んでいきましょう。

○旧約聖書コース「詩編解説 -詩編を読みながらヘブライ語を学ぶ」

雨宮 慧（東京教区司祭） 水曜日 10:30-12:00

開講日： 4/22、 5/20、 6/3、 6/17、 7/1 （全5回）

日本語の聖書によって、私たちは旧約・新約の文章を読むことができます。ただ、聖書の背景は日本の風土や文化とは大きく異なっているため、日本語訳では理解しきれないところがあります。この講座では、日本語旧約聖書の詩編を読み、ヘブライ語本文を参照し学びながら、丁寧に解説します。

○旧約聖書コース「創世記」

久保 文彦（上智大学基盤教育センター講師） 土曜日 14:00-15:30

開講日： 5/16、 5/30、 6/13、 6/27、 7/11、 7/25 （全6回）

原初史の特徴は、全宇宙と人類の起源を物語ることによって「人間とは何か」という主題を考察している点にあります。キリスト教の伝統を通じて、原初史の物語は人間論の古典として読み継がれてきました。この講座では、原初史の物語の内容を丁寧に分析し、キリスト教における人間理解の基本を学びます。

公益財団法人真生会館 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4
Tel: (03)-3351-7121 【受講料/各回】 会場/ZOOM 1,200 円※学生無料

【会場受講】裏面の申込欄にご記入、またはお電話、HPより。



【ZOOM受講】HPより。
開講日後1週間後までお申込み。30日間視聴OK

